

事例紹介

生態系に配慮した農地整備 ～コウノトリと共生する町を目指して～



豊岡市のコウノトリ
(写真提供:兵庫県立コウノトリの郷公園)



兵庫県豊岡市

コウノトリの野生復帰の推進に向けたほ場整備

兵庫県豊岡市は、県立コウノトリの郷公園を中心としてコウノトリの保護増殖に取り組んでいます。農業農村整備事業においてもこの取組みにつながる、コウノトリの餌となるドジョウが生息できるように水田と排水路をつないだ水田魚道の整備等を行っています。

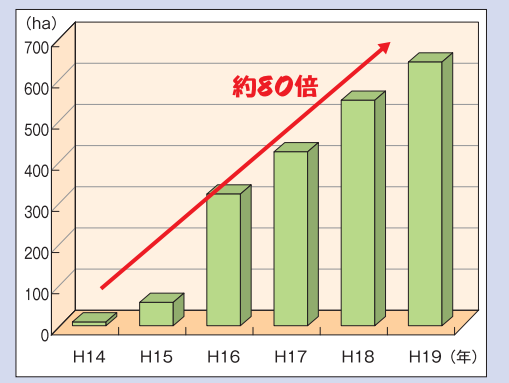


水田に設置された魚道
(写真提供:兵庫県但馬県民局地域振興部豊岡土地改良事務所)

生態系に配慮した営農の推進

減農薬・無農薬栽培を推進することで、コウノトリの野生復帰に向けて、良好な環境を確保しています。こうした取組みにより、コウノトリは、豊岡市の重要な観光資源となるとともに、栽培された米は、農薬や化学肥料を低減した「ひょうご安心ブランド農産物」、さらに生き物を育む技術を導入した「コウノトリの舞」の認定を受けたブランド米の栽培が広がっています。

豊岡市の「ひょうご安心ブランド」認証ほ場面積の推移



資料:兵庫県調べ



地域住民による水田魚道の設置



「コウノトリの舞」としての認定を受けたお米

農村景観と生態系の保全に取り組んでいます

農業農村整備事業での取組み

平成13年度に、「土地改良法」が改正され、農業農村整備事業を行う場合には環境との調和への配慮が事業実施の原則として位置付けられました。この法改正を受けて、平成18年度には、「農業農村整備事業における生態系配慮の技術指針」、「農業農村整備事業における景観配慮の手引き」が作成され、農業農村整備事業における景観と生態系への配慮の取組が推進されています。



農林水産省生物多様性戦略の取組み

農林水産省生物多様性戦略とは
農業は、自然界における多様な生物がかかわる循環機能を利用して動植物等を育みながら営まれています。農林水産省では、農業によって自然と人間がかかわり、創り出している生物多様性を、豊かな農山村を維持・発展させつつ未来の子供たちに残していくために、農林水産省生物多様性戦略を策定し取組を進めています。

○水田や水路、ため池等の水と生態系のネットワークの保全の推進
冬季湛水による生物多様性保全

(資料:農林水産省「農業農村整備事業における生態系配慮の技術指針」)

○農村環境の保全・利用と地域資源活用による農業振興
淵を配置した水路の整備

(資料:農林水産省「農業農村整備事業における生態系配慮の技術指針」)
(財)自然環境研究センター)

事例紹介

美しい農村景観を守りながら農地を整備 ～景観と生態系に配慮した区画の整理～



地区に生息する希少種「ギバチ」

現況の環境を保全した整備を実施

この地域は、扇状地を流れる農業用水路、散在する多くのため池や周辺の樹林帯及び屋敷林を有する「えぐね」と呼ばれる地域特有の美しい農村景観と豊かな生態系を有しています。そのため、事業の実施時には、魚類、昆虫、鳥類等動物の生息・移動にとって重要な水辺と緑地の連続性を持ったネットワークの形成を目的とし、地区内にあるため池を保全す

事業内容
事業名: 国営農地再編整備事業いさわ南部地区
受益面積: 1,100ha
主要工事: 区画整理 1,090ha
農地造成 10ha
排水路 4.3km
農道 139.5km



るなど環境に配慮した整備を行っています。また、こうして保全された環境を利用して農業体験や自然観察会を通じた地域の交流と自然環境の維持管理の重要性について理解を深める活動を行っています。



奥州市胆沢区に見られる散居集落風景
(写真提供:胆沢観光協会)



保全したため池での自然観察会とボート体験
(写真提供:東北農政局)



水路に設けられた動物脱出施設
(写真提供:東北農政局いさわ南部農地整備事業所)

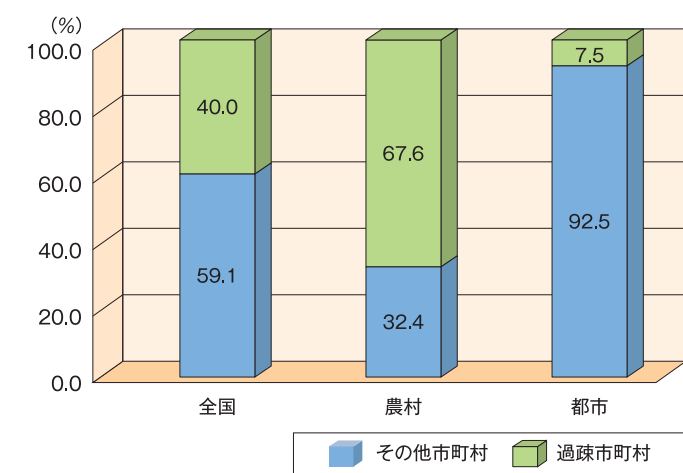


保全される原川
(写真提供:東北農政局いさわ南部農地整備事業所)

農村の過疎化や混住化などの進行により農村景観と生態系への影響が懸念されます

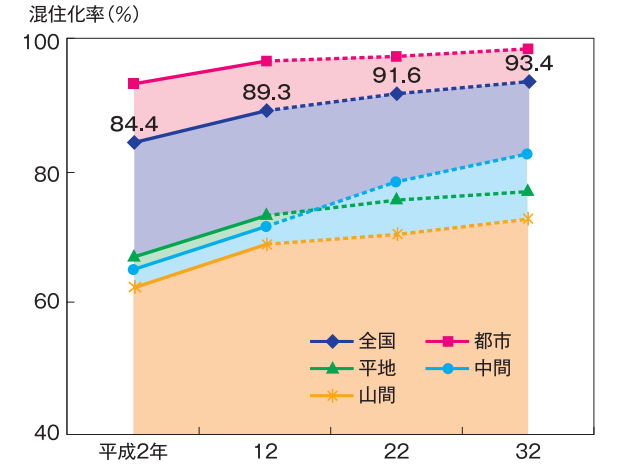
農村では過疎化や混住化が全国的に進行し、集落単位でこれまで維持されてきた集落機能が低下し、農業の営みにより支えられてきた美しい農村の景観と多様な生態系への影響が懸念されています。

農村と都市の過疎市町村数(平成20年4月現在)



資料:(財)過疎地域問題調査会
注:農村と都市の区分は、第1次産業の割合の上下位5県とした。
都市(東京、大阪、神奈川、埼玉、兵庫)、農村(青森、岩手、高知、宮崎、鹿児島)

混住化の推移と将来予測



資料:農林水産省「世界農業センサス」(組替集計)
注1:平成32年の混住化率は、平成2年、平成12年センサスの農家人口データを用いてコーホート法により推計した平成32年の農家人口に基づき、農家・非農家戸数を推計して算出
注2:混住化率とは、農業集落内の総戸数に占める非農家戸数の割合